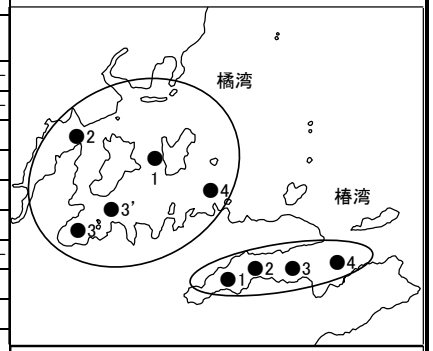
令和6年度 橘湾・椿泊湾 有害プランクトン調査 （7月9日調査） 徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層 (m)	水温 (℃)	塩分	透明度 (m)	細胞/mL シャットネラ アンティーカ	シャットネラ マリーナ	シャットネラ 区分不能	シャットネラ オバータ	シャットネラ グロボーサ	カレニア ミキモトイ	コクロディニウム ポリクリコイデス
1	09:10	0-5			4.0	–	–	–	–	0.05	0.01	–
		0	26.30	30.31		–	–	–	–	–	–	–
		1	25.44	30.83								
		5	23.51	31.74								
		10	21.70	32.16								
		B-1	21.55	32.26								
2	09:03	0-5			3.3	–	–	–	–	–	–	–
		0	27.04	29.53								
		1	25.25	30.96								
		5	23.80	31.46								
		B-1	22.59	31.87								
3	08:55	0-5			5.1	–	–	–	–	–	–	–
		0	27.34	30.48		–	–	–	–	–	–	–
		1	26.67	30.79								
		5	24.25	31.69								
		B-1	23.88	31.74								
3'	08:50	0-5			5.1	–	–	–	–	–	–	–
		0	26.86	30.61								
		1	25.94	30.99								
		5	24.03	31.80								
		B-1	23.27	31.90								
4	08:40	0-5			7.1	–	–	–	–	0.04	–	–
		0	26.10	30.85								
		1	25.23	31.29								
		5	23.67	31.81								
		10	22.28	32.07								
		15	21.41	32.38								
		B-1	21.32	32.42								



備　考

・有害種のシャットネラ グロボーサが検出されましたが、ごく僅かでした。

・有害種のカレニア ミキモトイが検出されましたが、ごく僅かでした。

・珪藻は橘湾、椿泊湾ともにスケレトネマ属主体で、前回調査から増加しました。

珪藻細胞数
　橘湾St.1(0-5m)：1,072 cells/ml
　椿泊湾St.3(0-5m)：554 cells/ml

令和6年度　橘湾・椿泊湾 有害プランクトン調査 （7月9日調査） 徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層（m）	水温（℃）	塩分	透明度（m）	細胞/mL シャットネラ アンティーカ	シャットネラ マリーナ	シャットネラ 区分不能	シャットネラ オバータ	シャットネラ グロボーサ	カレニア ミキモトイ	コクロディニウム ポリクリコイデス	備　考
1	08:11	0-5			5.2	–	–	–	–	0.04	–	–	
		0	25.80	30.84									
		1	24.84	31.34									
		5	23.45	31.62									
		B-1	22.71	31.78									
2	08:16	0-5			6.1	–	–	–	–	0.03	–	–	
		0	25.62	31.13		–	–	–	–	0.02	–	–	
		1	24.80	31.33									
		5	23.00	31.78									
		10	22.01	32.01									
		15	21.39	32.30									
		B-1	21.36	32.36									
3	08:21	0-5			6.7	–	–	–	–	0.02	–	–	
		0	25.45	31.16									
		1	24.18	31.49									
		5	22.59	31.99									
		10	21.73	32.06									
		15	21.35	32.46									
		B-1	21.19	32.78									
4	08:27	0-5			9.0	–	–	–	–	0.04	–	–	
		0	25.42	31.27									
		1	24.36	31.57									
		5	22.50	32.03									
		10	21.64	32.32									
		15	21.22	32.73									
		20	21.05	32.92									
		B-1	21.02	33.09									